

行動計画推進リーダー委員会

委員長 村上 義 憲

副委員長 島 谷 隆

委 員 住 谷 幸 伸 藤 田 俊 和

堀 井 実 朝 倉 一

高松西ロータリークラブ60周年・住谷ガバナー年度に向けて

高松西ロータリークラブは、2年後に、60周年そして住谷ガバナー年度を同時に迎えることとなります。これからの二年間は、それらの準備も含め重要な時期となります。

前年度は、会員の皆様にアンケートを行い様々な意見を頂戴いたしました。そのいただいた内容も踏まえ、クラブに対し委員会の再編や会費の改正などを提言させていただきました。しかしながら、会員増強や新旧会員のコミュニケーション不足など課題はまだ多く残されています。それらの解決に向けた方策も早急に必要です。また、長期の明確な方針策定にも至っておらず、今期も引き続き具体的な長期計画の策定に取り組めます。

また、2年後の同年度に重なる、我がクラブの60周年、住谷ガバナー年度が実りある良き節目となり、さらに良き高松西ロータリークラブとして発展して行くようプランを策定し、クラブの活性化に取り組んで参ります。

高松西ロータリークラブ3年計画

担当：行動計画推進リーダー委員会 記入日：2024年7月1日

ロータリーは110年の歴史を誇り奉仕活動を中心に世界及び地域社会に確固たる実績積み重ねてきました。しかし社会の変化に対応すべく常に研鑽と対策が必要な事も事実です。これをふまえ当クラブも先輩諸氏から引き継いできた理念を基に中長期戦略計画書（3～5年）を作成しました。

1. クラブの現状はどうか

■クラブの長所

会員の平均年齢60.25歳でバランスは良い、職業分類も幅が有る。クラブのイベントに対して皆結束する。また友好縁組に関しては海外クラブ1、国内クラブ2、と他クラブとの交流は熱心。クラブ規定、細則に関しても直近のR Iの規定審議会に則った内容で対応出来ている。2019年4月に創立50周年記念を迎えたが、意義ある記念事業を実施することができた。

■クラブの短所

例会についての認識がやや薄く此の所出席状況が芳しくない。特定のメンバーに顕著に表れている。70%を切る週もある有様、各々のスポンサーによるケアから始めクラブ全体で意識改革が求められる。出席率低迷ではクラブの品格を問われる。ロータリーはそもそも奉仕も親睦も例会出席から始まる。「入りて学び出て奉仕」これがロータリーの基本姿勢。

■地域社会に存在する機会（例：新しい会社やビジネス、労働力不足への対応など）

R財団資金を活用して毎年植樹等の奉仕活動を実施している。また同資金活用しモンゴルで失業者対策としてフェルト製品のハローワークを実施。2016年、計画通り2年間の予定終了50名の職人を育て世に出した。また2018年にはミャンマーの貧困地区に図書館と小学校の校舎を建設、病院に医療器具等を寄贈。地元の住民や行政から大いに感謝された。今後も支援を続ける予定。

■地域社会に存在する課題（例：経済の悪化、競合する奉仕団体など）

四国は経済基盤が小さく不況の影響は受けやすいので組織を越えて助け合う精神がいつの時代も必要。同じように奉仕活動に取り組む団体、ユネスコ、オイスカ等と協同作業を目指すのも大事。

2. クラブは何を目指しているのか 達成期日：2027年

■クラブが目指す未来像の主な特徴

（例：会員増強、出席率向上、地元と海外のプロジェクトのバランス、ロータリー財団への支援など）

会員数現在44名、毎年3%純増目指すためには若い世代にとって魅力あるクラブに映る為の工夫が必要。会員が誇りを持てるクラブを実現する事が目標。そして何と言っても奉仕の精神が旺盛で「元気があり存在感のあるクラブ」が理想、例会の出席率に表れる。その他ITを活用したPR活動も重要。

■ビジョン声明

5大奉仕活動をバランスよく実践できるクラブ、前述のように「奉仕の精神に溢れ元気のあるクラブ」その為に若年層（青年会議所等）への積極的なアプローチが肝要。地道な活動こそ結果に繋がる。短期交換留学生を毎年受け入れている事は誇れる。

(地域のほかの奉仕団体と比べ、クラブを際立たせるような表現を入れる。例:「地域において最も国際性のある奉仕クラブとなること」「青少年の支援に地域で最も力を注いでいる奉仕クラブとなること」など)

3. どのように目標を達成できるか

ビジョンの実現に向けて、クラブが取り組む各目標(下線部に優先事項を記入し、各事項を達成するための年次目標をその下の表に書き入れてください。優先事項と年次目標の数に制限はありませんが、クラブが利用できるリソースを考慮した上で達成可能な目標に的を絞るようにしましょう)。

戦略的優先事項 1: 会員増で元気溢れるクラブの創生

年次目標	達成期日	必要なリソース	担当する会員
毎年 3% (2 人) 会員純増	2027 年	身近な人や若い世代 婦人勧誘、 職種の多様性進める	全員
上記年度 50 名以上維持	2027 年		

戦略的優先事項 2: 例会の出席向上

年次目標	達成期日	必要なリソース	担当する会員
例会 90%出席を目指す(現況は 70%台割ること)。 高潔性と品性保つ。これは出席率向上をも意味する。	2027 年	全員	全員

戦略的優先事項 3: 人道主義的奉仕活動

年次目標	達成期日	必要なリソース	担当する会員
R 財団の有効活用を常に協議 DDF (グローバル補助金) の原資は潤沢だが人道主義的 6 項目を満たす企画が出ない。常に挑戦の気持ちを忘れずに。	毎年	他クラブ成功事例等 企画立案が肝心	R 財団委員会 世界社会奉仕委員会等

4. 目標に向けての推進はどうか

進捗状況を確認するためのステップ。クラブが戦略計画の進捗状況を確認するために行う項目を挙げてください。これには、確認の期日や周期、確認方法も含まれます(定例理事会で及びクラブ協議会で戦略計画の見直しと年次評価を行う)以下その他の意見。

R I の 3 年に 1 度の 規定審議会の方向性が定まらないのでクラブは中長期戦略計画策定に苦慮する。和訳が半年後と云うのも R I として考えねばならない点で有ろう。
少なくとも新年度スタートに改訂がクラブ細則に反映できるスケジュールにすべし。
R I が例会の柔軟性を説く中で我がクラブはどこまでも例会ありきの精神を尊重する姿勢を堅持、そして友情を深め奉仕を通して社会貢献する。ロータリーの精神を貫く。尚これらの中長期戦略計画に関しては毎年見直す必要有り。